



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 セントラルスポーツ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4801 URL <https://www.central.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 後藤 聖治  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 安部 宏 TEL 03-5543-1803  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,596	5.8	1,473	72.9	1,231	109.7	767	195.7
2023年3月期第2四半期	21,358	10.1	852	△1.8	587	△55.3	259	△64.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 871百万円 (111.9%) 2023年3月期第2四半期 411百万円 (△47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	68.52	—
2023年3月期第2四半期	23.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	42,111	24,661	58.5	2,201.18
2023年3月期	42,565	23,901	56.1	2,133.28

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 24,654百万円 2023年3月期 23,894百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	21.00	—	10.00	31.00
2024年3月期	—	18.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	6.0	2,560	38.3	2,000	48.5	1,120	41.1	100.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	11,466,300株	2023年3月期	11,466,300株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	265,661株	2023年3月期	265,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	11,200,639株	2023年3月期2Q	11,200,639株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は一部地域では底堅く推移しましたが、ウクライナ情勢等の不安定な国際情勢の長期化や物価上昇等により全体的に停滞感のある状況となりました。国内では経済活動の正常化を背景に個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかに回復しました。

当フィットネス業界におきましては、積極的な個人消費の広がりや外出機会の増加、更には各種スポーツ競技大会等の開催により健康やスポーツへの関心も高まり、復調傾向となりました。

このような状況の中、当社グループは経営理念である『0歳から一生涯の健康づくりに貢献する』のもと、「現在価値の再強化による顧客満足度の向上」を目標とし、接客力・指導力の再強化に注力するとともに、安心・安全で快適な環境を提供できるよう努めてまいりました。

店舗については、上質な24時間フィットネス体験をコンセプトとした「ジム24 Premium」の1号店として、9月に「セントラルスポーツジム24 Premium新浦安店」（千葉県浦安市）の運営を開始しました。運営を終了した店舗は、7月「セントラルスポーツ ヨガピス渡辺通り店」（福岡県福岡市中央区）、8月「セントラルスポーツジム&ラン東京丸の内店」（東京都千代田区）の2店舗となり、当第2四半期連結会計期間末は直営180店舗、業務受託60店舗、合計240店舗となりました。

会員動向については、フィットネス会員数は回復基調ではあるものの、全体の会員数は前年比98.8%となりました。

当第2四半期連結会計期間は、マシンをはじめとした設備や施設の環境整備、リニューアル工事等を進めるとともに、フィットネス会員継続や入会促進、子ども向け短期教室や体験会実施強化を推進しました。同時に効率化運営、節電対策の強化、オンライン事業の拡充等を行いました。また、子ども向け野外体験スクールについては、宿泊を伴うサマーキャンプを4年ぶりに再開することができ、多くの子ども達にご参加いただきました。

介護予防関連サービスや法人向け健康サービスについても引き合いが増え、徐々に需要が戻りつつあります。

その他、SDGsへの取り組みの一環で水難事故防止や災害時への備えとして、全国の小学校等での無料着衣水泳教室（実技講習・机上講習）を継続して実施しております。

所属選手については、9月に開催された日本選手権水泳競技大会 飛込競技で金戸快が男子高飛込、金戸凜が女子高飛込でそれぞれ金メダルを獲得し、世界選手権の日本代表に内定しました。また中国で開催されたアジア大会体操競技では、谷川航、谷川翔が男子団体総合で銀メダルを獲得し、個人種目では谷川航が跳馬で金メダル、つり輪で銅メダル、谷川翔が鉄棒と平行棒で銅メダルを獲得しました。同アジア大会 競泳競技では、眞野秀成が男子4×200mフリーリレーに出場し、銅メダルを獲得しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,596百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益は1,231百万円（前年同期比109.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は767百万円（前年同期比195.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ453百万円減少し、42,111百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金、売掛金が減少したこと等により流動資産が163百万円、有形固定資産が226百万円減少したこと等により固定資産が289百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,212百万円減少し、17,450百万円となりました。その主な要因は、流動負債のその他に含まれる未払法人税等が増加したものの、契約負債が減少したこと等により流動負債が178百万円、長期借入金、リース債務が減少したこと等により固定負債が1,034百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ759百万円増加し、24,661百万円となりました。この結果、自己資本比率は58.5%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ32百万円減少し、7,964百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1,643百万円の収入（前年同期は957百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,182百万円、減価償却費734百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、473百万円の支出（前年同期は268百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出368百万円、敷金及び保証金の差入による支出102百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1,245百万円の支出（前年同期は1,607百万円の支出）となりまし

た。これは、長期借入金の返済による支出919百万円、配当金の支払額112百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、本資料公開時点において、2023年5月12日の決算短信で発表しました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,997	7,964
売掛金	1,570	1,362
商品	272	285
貯蔵品	51	56
その他	926	984
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,815	10,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,085	33,289
工具、器具及び備品	5,857	5,940
土地	8,058	8,124
リース資産	6,970	6,251
その他	77	82
減価償却累計額	△34,235	△34,101
有形固定資産合計	19,813	19,586
無形固定資産	451	431
投資その他の資産		
繰延税金資産	466	328
敷金及び保証金	10,112	10,209
その他	952	951
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	11,484	11,441
固定資産合計	31,749	31,459
資産合計	42,565	42,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	108	106
1年内返済予定の長期借入金	1,839	1,839
契約負債	3,454	3,143
賞与引当金	424	504
役員賞与引当金	30	10
その他	4,106	4,179
流動負債合計	9,963	9,784
固定負債		
長期借入金	2,025	1,106
リース債務	4,489	4,306
退職給付に係る負債	123	126
資産除去債務	1,551	1,563
その他	509	562
固定負債合計	8,700	7,665
負債合計	18,663	17,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	19,807	20,463
自己株式	△623	△623
株主資本合計	23,718	24,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	46
為替換算調整勘定	137	234
その他の包括利益累計額合計	175	280
非支配株主持分	7	6
純資産合計	23,901	24,661
負債純資産合計	42,565	42,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	21,358	22,596
売上原価	18,893	19,474
売上総利益	2,464	3,122
販売費及び一般管理費	1,612	1,648
営業利益	852	1,473
営業外収益		
受取利息	5	13
受取保険金	7	—
その他	20	20
営業外収益合計	32	33
営業外費用		
支払利息	296	274
その他	0	0
営業外費用合計	297	275
経常利益	587	1,231
特別利益		
固定資産受贈益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	24
減損損失	92	35
特別損失合計	92	60
税金等調整前四半期純利益	494	1,182
法人税、住民税及び事業税	158	279
法人税等調整額	78	136
法人税等合計	237	416
四半期純利益	257	766
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	259	767

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	257	766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	8
為替換算調整勘定	159	96
その他の包括利益合計	153	105
四半期包括利益	411	871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413	872
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	494	1,182
減価償却費	756	734
減損損失	92	35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	109	79
支払利息	296	274
固定資産受贈益	—	△10
未払金の増減額 (△は減少)	△373	△148
契約負債の増減額 (△は減少)	431	△349
その他	△123	239
<b>小計</b>	<b>1,685</b>	<b>2,038</b>
利息の支払額	△227	△274
法人税等の支払額	△531	△124
その他	30	3
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>957</b>	<b>1,643</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△255	△368
敷金及び保証金の差入による支出	△2	△102
敷金及び保証金の回収による収入	76	5
その他	△87	△8
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△268</b>	<b>△473</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,046	△919
配当金の支払額	△324	△112
その他	△235	△213
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,607</b>	<b>△1,245</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	43
現金及び現金同等物の増減額	△860	△32
現金及び現金同等物の期首残高	9,209	7,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,348	7,964

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。